

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20220001	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	身体運動と言語を統一した人間・機械コミュニケーションの成立	研究代表者 (所属・職)	中村 仁彦（東京大学・大学院情報理工学系研究科・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究における、身体運動の表現に音声認識で用いられている表現を適用し、運動の形態素解析とHMMによる学習により運動を表現するという考えは新規ではないが、運動の表現とその応用に関する実績は世界のトップといえる。5つの研究目標のうち、4つについては概ね順調に達成している。最後の目標はこれからであるが、今後の達成に期待したい。また、新型アクチュエータを開発して用いる予定であるが、人とコミュニケーションするヒューマノイド開発という目標の達成のためには必須ではない。</p> <p>なお、自然言語の音声の解析法を参考にしているが、目的をもって情報を伝達するという音声と、一般の身体運動は異なる点があるので、その点に着目し、身体運動特有の解析法を開発することが望まれる。</p>	